

要約

小型ミスダコ用の脱出口の効果を実証し、操業形態を変えずに小型ミスダコを保護できる改良カゴを開発しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

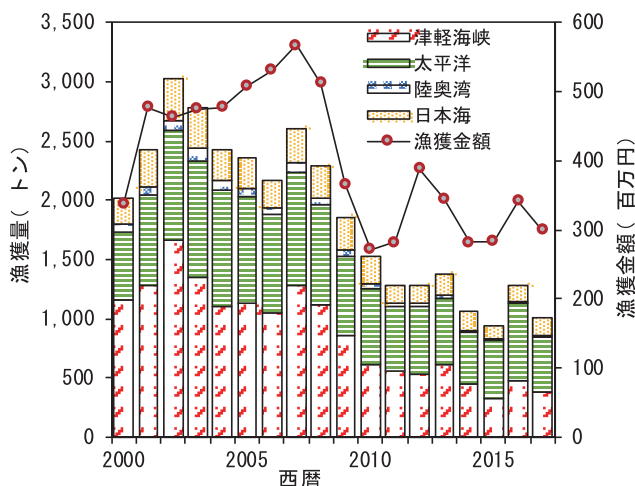
ミスダコは津軽海峡沿岸の重要な漁獲対象種で、主にカゴなどで漁獲されます。近年、漁獲量が減少しており、現在の資源管理（禁漁期間設定、3kg未満の水揚げ禁止）に加え、小型ミスダコを確実に保護するための新たな手法を確立する必要があります。

2 内容

- 3kg未満のミスダコだけが脱出可能な脱出口付き改良カゴにより、3kg未満のミスダコはカゴ揚げ前に脱出することが実証されました。
- 3kg以上のミスダコは改良カゴでも通常カゴと同様に漁獲可能です。
- 脱出口をカゴのどこに取り付けても、小型ミスダコは脱出できます。

3 活用等

通常カゴを改良カゴに置き換えることで、水揚げ可能な3kg以上のミスダコに対しては今まで通りの漁獲能力を維持したまま小型ミスダコの資源保護効果が発揮されます。



青森県における海域別たこ類漁獲量と金額の推移 (※たこ類の大半がミスダコ)



脱出口(赤丸)付き改良カゴ

関連情報

- 改良カゴの作成に必要な脱出口用のリングは県の水産事務所や水産総合研究所で配布しています。
- 津軽海峡のミスダコは、移動範囲が狭く、成長も早いので、小型ミスダコ資源を守ることで、持続可能な漁獲につながることを期待できます。

水産総合研究所 資源管理部

Tel. 017-755-2155

E-mail sui_souken@aomori-itc.or.jp



青森産技

あおもりの未来
技術でサポート